

公共事業の全てが悪ではない
「もったいない松戸」からの脱却

石井

以前、北千葉道路近隣の7市が集まり
京都大学の藤井教授に話を伺った事が
あるのですが、この北千葉道路の整備
状況を見て「非常にもったいない」と
おっしゃっていました。

詳しく伺うと、成田に到着した貨物は、
北千葉道路が十分に整備されていない
がために、よりトラック状況の良い
埼玉方面に運ばれてしまっている
と。もし成田が外環道と接続し、トラ
ックの状況が改善すれば、北総線
沿線に貨物の集積先が作られ、地域に
大きな経済効果が望まれるとの事でした。
では、外環道との接続が完成して
いない残り10キロほどの部位がどこか
と云えば、これは松戸市・市川市・鎌
ヶ谷市の市境なのです。

渡辺

そう、市境なのですよね。なるほど、
だんだん石井議員のおっしゃりたい事
がわかってきましたよ(笑)

石井

さすが、地元の衆議院議員さん(笑)。
千葉北道路と外環道が接続すれば、そ
れぞれの市だけでなく、この地域全体
に利便性がもたらされるわけですから、
どうしても繋げていきたいと考えてい
るのです。



この事について、市役所の関係部署に
も話を聞いてみたのですが、やはり市
境は、市が単独で事業主体となった場
合、投資に対する経済効果が生まれづ
らく、どうしても二の足を踏んでしま
うらしいのです。こういう状況である
ため、この地域については現在も事業
主体が決まらず、この結果、大学の先
生がおっしゃったような「もったいな
い状況」が生まれてしまっていると。
こういう点については、是非とも県政
や国政に音頭を取って欲しいところな
のです。

渡辺

北千葉道路は既に鎌ヶ谷まで完成して
いますが、その後のルートはまだ未調
整で、時代の変遷とともに青写真も
刻々と変わっています。市川・松戸・
鎌ヶ谷などの近隣市町村、それに千葉
県と国で連絡協議会を設立し協議を行
っています。それを早々に決めてい
く、進めていく事が肝要です。
また、外環道は平成27年度の全面開
通を目的に京葉道路まで接続する計画
ですので、これが完成すれば経済効果

KEY POINT #01: 北千葉道路と外環道



平成27年度を目途に外環道と京葉道の接続が予定されており、これに千葉北道路(国道464号線)が接続される事により、成田国際空港と首都圏を結ぶ道路網が強化され、松戸市にも経済的効果や利便性の向上が期待されます。
しかしながら、上記の図の通り、連絡路は松戸市・鎌ヶ谷市・市川市の市境を通過するため、慎重な調整が求められています。

だけでなく、市民の利便性も確保され
る事でしょう。

石井

松戸市に目を向ければ、三矢小台近辺
に松戸ICが作られる予定です。これ
と北千葉道路の接続がいかに利便性を
もってなされるかが重要となります。
藤井教授が仰っていたのですが、日本
では長く続く不況の中で、いつしか、
「公共投資=悪」というようなイメージが
強くなっていますが、海外に目を向け
ればどの国でも必要な投資は行って
いると。一律で公共事業を縮小してし
まっているのは日本ぐらいなものだと
いう事らしいのです。無駄を省くのは
当然ですが、利便性や経済効果を考え

渡辺

て、投資すべきものはやり遂げる事が
必要なのではないでしょうか。
例えば、外環道路が整備された場合、
湾岸道路から常磐道までが15分、東
北道まで30分で接続されるようにな
ります。そういう意味では、完成して
いないがために「高速道路の機能を果
たしていない」道路はたくさんありま
す。ネットワークは結んでこそ本当の
効果が見込まれるわけです。
未完成な幹線がそのままにされる事こ
そが、残念な事に結果的として「無駄」
を生み出してしまっているとも言えま
すよね。